

七日 磐城時報

福島縣石城郡平町... 印刷部 石城郡平町... 電話 一四七

犬養政友總裁の 木村候補の推薦状

五日言論戦の火蓋を切つた第三區木村候補は連日各地に轉戦得意の雄辯で大向ふをうならせてゐるが、更に文書戦にも力を入れて既報の如き木村候補自身の挨拶状を始め石城政友支部の推薦状も、愈々發送準備成つたので、今明中全戦線に亘つて發送する事となつてゐるが、政友會總裁犬養毅氏は特に木村候補應援の爲め自筆の推薦状を寄せて石、双、相三區内の有力者全部に發送する事と決定したが、依頼状の内容は

衆議院議員候補者 木村清治

右謹んで推薦致し候目下の不景氣は日を送りて益々慘烈を加へ營業の困難、生活の脅威は底止する處を知らざる實勢にて今に於て此の難境を離脱し更に進んで帝國の運を拓するに非ざるは吾黨主張の政策を施行する以外には巨款の途なきものと確信致し候何卒國家本位の見地より公明の御判断を以て右候補の當選致し候様御盡力被下度特に御依頼申上候

昭和三十五年二月 立憲政友會總裁 犬養毅

比佐候補應援の余力を 氏家氏に惠まれたい

昨夜平町聚樂館で 氏家氏應援辯士の叫び

民政黨候補者氏家清氏の政見發各氏の應援演説あり、各辯士共表演會は六日午後五時から中口を揃へて曰く 第三區からは比佐昌平、氏家清兩氏を是非當選せしめねばならぬ、兩氏を當選せしむるためには、比佐候補は石城といふ絶對地盤を有してゐるから全く安全候補と言ふ可く問題は氏家氏の當選で、氏家氏のために石城から多少の投票を送らねばならぬ、此際比佐代議士を應援する余力を氏

高木秀雄、伊藤兼吉、山田緑雨、馬目雅治、猪狩千勝、荒川銀次郎、山田六郎

であるが辯士は農林政務次官高田、本派特派員伊藤正雄、野村留助、縣會議員若松松三、比佐昌平の各氏である。

政見發表

佐藤候補 政見發表 政友候補者佐藤庄太郎氏は七日から十二日頃までの間に石城郡各町村に於て政見發表演説會を開催する事になつたが、應援者は田子健吉氏外数名である。

▲赤井組頭交代 石城政友比佐昌平氏の政見發表演説會は七日午後一時聚樂館と元平過敷辭職したので矢野達氏任命商業學校の二ヶ所で開催する筈された。

▲比佐候補演説會 民 警察署では去る四日から管内各町村で選舉期に關する警備算作成當時程交附されず現に赤交附ならぬので河川改修工事も出来ず明年度豫算の編成も三日頃までかかるので平署の主要部の人々は出張不在の状態であるのに六日からは木村、比佐野の二ヶ村の悪水豫防組合でも兩候補、七日からは氏家、佐藤過般の水害復舊工事費として一萬餘圓の縣補助を申請したが、僅數百圓の交附を受けたのみで手の出し様もないとの事、斯くの如く各町村に於て豫定事業を繰延べ中止するのやむなき状態にあり、而も豫算は緊縮方針によりらねばならぬので如何にして明年度即ち五年度豫算を作製するかについて町理事者が頭を悩ましてゐるので町長會平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

演説會と警告で 平署轉手古舞

警官不足で悩まざる

平署警署では去る四日から管内各町村で選舉期に關する警備算作成當時程交附されず現に赤交附ならぬので河川改修工事も出来ず明年度豫算の編成も三日頃までかかるので平署の主要部の人々は出張不在の状態であるのに六日からは木村、比佐野の二ヶ村の悪水豫防組合でも兩候補、七日からは氏家、佐藤過般の水害復舊工事費として一萬餘圓の縣補助を申請したが、僅數百圓の交附を受けたのみで手の出し様もないとの事、斯くの如く各町村に於て豫定事業を繰延べ中止するのやむなき状態にあり、而も豫算は緊縮方針によりらねばならぬので如何にして明年度即ち五年度豫算を作製するかについて町理事者が頭を悩ましてゐるので町長會平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

演説會で教室を荒され 湯本小學生憤る

第三區民政黨の政見發表演説會を去る五日午後六時石城郡湯本小學校に開催したことは既報の如くであるが、これに對し突如湯本小學校生徒一部から騰駕版刷りて左の如きビラが全町内に撒布された。

事務所移轉

平町元郡役所内事務をとつて各各種團體のうち平殺物検査所は七日新築された平土木監督所に移轉しその他の團體は來る九日全部新築事務所に移轉する事になつた。

選舉余談

▲警察署の鯨岡警部補が六日夜石城郡高入村に開催された政談演説會に臨官として出席し午後十時過ぎオートバイに乗つて歸つて來る途中同村地内でバンクしたので途方に暮れた警部補、オートバイを捨て、トボトボ歩いて來たことは御奇勞。

小學校長會

演三郡小學校長會は七、八兩日平町第一小學校に開催されるが提出事項は中等學校入學者選抜方法を主眼として左記各項である。

卓球大會

平卓球協會では十六日午前九時から平町元公會堂で第一回關東北卓球大會を開催する事になつたが優勝組には優勝旗を贈る筈である、参加希望者は二月十四日まで平町大塚運動具店宛申込むこと。

文書を偽造し 數千圓横領

長野縣下水内郡關山村生れ齋藤正直(四一)及石城郡赤井村高田忠助(六二)の兩名は去る二日共謀して山形縣北村山郡楯岡町喜早收治の印鑑文書を偽造して同人所有の福島縣石城郡赤井村石炭礦區七萬五百坪を横領せんと企て東京市外東鴨町の金貨業金子千芳外數名と右の土地賣買契約をなし數千圓を横領した事發覺四日楯岡署に檢舉された。

役員改選

平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

各町村で 豫算編成難

石城郡内各町村では昭和五年度豫算の編成に着手したが、緊縮をなやましてゐるので町長會平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

各町村で

豫算の編成に着手したが、緊縮をなやましてゐるので町長會平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

役員改選

平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

役員改選

平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

役員改選

平町農商組合では六日午後三時から平町旗亭大真に於て常例役員改選の結果左の如く決定した。

昭和タクシー 自動車墜落

七日午後十時頃平町駅前昭和タクシー自動車湯本町から平町に歸る途中内郷村大字御所地内で田の中に墜落したが、運転手は無事であった。

平第二校雛祭

第二小学校では三月三日の雛節句當日各教室に雛壇を設け各児童が持寄る雛祭り催す事になつたが、同校では始めての催しであり一般父兄から興味を以て迎へられてゐる。

酒七升をのみ

裏山で縊死

石城郡渡邊村宇田邊佐藤久米之助(六八)は去る三日約七升ほどの酒をベロリ平らげて家出行為不明となつたので家人は八方捜索中であつたが五日自宅裏山で縊死を遂げてゐるのを発見した原因は借金を苦にして。

無産黨の幻滅

依田 秋作
総選挙を前にして無産黨は分裂した。之では勝利も望まなくなつた。既成政黨の喜びである。往昔ノ洪水のあとに一民族はバベルの塔を建んとした。彼らは太古において現代の如き煉瓦とセメントを發明し、それを以て大なる都市と、塔とを築かんとしたのである。

此バベルの塔は、天に達するほど大規模のものであつたが遂にその建築は失敗した。それは彼らの言語が亂れて、統一が取れなくなつたことに基因するのである。互の言語が

亂れて、そのお互のあひだに言語と意志が通じなくなつたら、統一ある仕事は出来ない。かくてこれらの民族は諸方に分散して種々なる民族に分かれたのである。

無産黨の分裂が、これに酷似してゐる。彼らは自黨の代議士を多数に議會に送つて、資本主義の政治と戦はんとした。のであるが、戦ひ前に自ら破れて、その思想と主義と、計画が幻滅したのである。バベルは混亂といふ意味がある。

政黨を組織して、それを維持し若しくは擴張するには、多額の黨費を要することは多量もない。無産黨もその御多

貸家案内

柳町 同 四圓五十錢
仲町 同 六圓五十錢
舊城跡ノ丸 同 八圓
菅ノ澤 同 五圓
白銀町 同 四圓
加藤營業所

分に渡れず、一黨を樹つるに於ては、莫大な金を要することに於ては、然るに今日の無産黨では、その經費を持ち切ることが出来ず、さうしてその負擔に堪へることが出来なくなつた。そこで一つの難問題が持ち上がった。既成政黨の如く、御都合主義になつてあまり主義を鮮明にせず多少主義主張の合はない人からでも、金を貰つて来るかといふ問題が起きたのである。

かたき討ちにも、合言葉がいつた、無産黨も、主義と主張を異にして一定の標榜をうしなひ一つの行動に出られなくては、資本家の首を討ち取ることも出来まい、彼らの現状こそ實に悲哀である。

驚いた!!!
こうまで安いとは
加納派版所の印刷物

腸胃 毒核

内科 専門 村松
十二指腸病 腸胃病
婦人病 淋病
皮膚病 専門 院 醫科
(七〇一電 町南平)

貸家あり

平町新川町十七番地
商店向き二ヶ所
家賃 十四圓五十錢
何れも水道の便あり
中野勇吉
平町新川町(電話一三三番)

共済 共貯

貯蓄ノ利息
貯蓄ノ味
貯蓄ノ意
加納派版所の印刷物

高久病院

平町田町(電話五二三番)
醫學士 高久 忠
新醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

熱心湯

「まの丈夫になつたわ」是れも平町七丁目の熱心湯のお蔭様よ。ほんたうにいゝ香りだわ。そして湯の安い事、朝の十時から夜迄入つて湯治の方は二階座敷科共で僅か二十五錢よ。
「あらさう?!それではあたかもこから毎日行くわ、そして丈夫な身体になるわ.....」

山崎合名會社

東京支店
電話 下谷五七二三番
振替東京六八三二番

新妻眼科醫院

平町 字 紺屋町
入院應需 看護婦一名至急募集

秘方傳腫物湯

定 二日分 價 金五十錢
●いたみはれ物 ●筋骨痛(神經痛に相當す)
●關節痛 リウマチスに相當す
◎効能説明 △いたみはれ物、いたみはれ物と申しましても非常に範圍が廣いのでありますが、本劑が特に効を奏する重なる病名を擧ぐれば、△顔や脊によく出来る瘍疔△指の腫れるへう疽△乳腫れ△あか切れや刺傷から微菌△が這入つて皮膚と筋肉との間に化膿する皮下蜂窩織炎△頸・腋窩、鼠蹊などの腫れる急性性淋巴腺炎△筋肉の化膿する化膿性筋炎△骨の化膿する骨膜炎等凡て化膿性腫物に顯著なる効力があります。勿論病症に依り藥効に遲速ありませんが輕症は三日乃至五日位、重症は二週間乃至五週間で効果を見る事が出来ます。

液体空氣會社製(酸素含有量九九五)

吸入用酸素酸素吸入器
正確体温器寒暖計
持城平町 開内藥局 電話四〇番

外科一般

醫學博士 藤本 順
產婦人科
院長 木村寅次郎
平町新川町(電話一六四)

吉田眼科醫院

病室完備 入院隨意
木村病院